

学校法人北里研究所報

第87号



北里研究所旧本館（博物館明治村）

目次

■ トピックス(2)	■ 学術交流(11)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6回北里大学医学部附属新世紀医療開発センターシンポジウム／第18回 KITASATO 移植市民セミナー（旧腎移植懇談会） ・ 今年もくまモンが北里祭に出動 ・ 北里大学メディカルセンターにて「第8回糖尿病フェア」を開催 ・ 大村 智特別栄誉教授に北本市初の市民栄誉賞を贈呈 ・ 第4回 相模原キャンパス防災講演会の開催 ・ 北里大学病院内でロボット実証実験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アジア内視鏡人材育成支援大学コンソーシアム」への加盟および協定の締結 ・ 神奈川県教育委員会との連携協力に関する協定の締結
■ 補正予算(5)	■ 委員会(11)
■ 平成29年度当初予算編成方針(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北里大学チーム医療教育委員会 ・ 北里大学 RI 安全管理委員会 ・ 北里大学奨学生選考委員会 ・ 被災学生等奨学生審査委員会
■ 事業計画（追加）(10)	■ 受賞(12)
■ 人事(10)	■ イベント(13)
■ 規程(10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第28回 発明相談会 ・ 平成28年度 学校法人北里研究所 第26回学会賞受賞者特別講演会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4病院における副院長及び病院長補佐職務権限規程の改正 ・ 人事部所管規程の改正 ・ 非常勤職員給与規程の改正 	



— 未来科学の創造 —
 2012年 北里大学創立50周年
 2014年 北里研究所創立100周年



トピックス

第6回北里大学医学部附属新世紀医療開発センターシンポジウム／ 第18回 KITASATO 移植市民セミナー（旧腎移植懇談会）

医学部附属新世紀医療開発センターは、11月3日(祝・木)に第6回シンポジウム「腎臓病治療の今。」を、相模大野駅前ユニコムプラザさがみはらで開催しました。今回は毎年秋に実施しているKITASATO移植市民セミナーと併催し、医学部の3名の専門家が、腎臓病治療の最前線を分かりやすく解説しました。

開催にあたっては、近隣自治体や医師会の後援をいただき、相模大野北口商店会のハロウィンのイベントで告知したり、ラジオCMを放送したりしました。当日は過去最高の228名が来場し会場が満員になったことから、サテライトを用意しました。また、腎臓病や移植医療の特別展を実施、講演関連書籍や北里グッズの販売も行いました。

FMヨコハマの街角リポーター藤田優一氏の軽妙な語り口で講演は進行しました。講演の合間には、来場者に質問し、手元のボタンで答えてもらうコーナーもあり、栄養面のアドバイスを行うなど好評を博しました。その後、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村 智特別栄誉教授の愛弟子の一人である山田陽城名誉教授による特別講演があり、自然の恵みから多くの薬が生み出されていることが紹介されました。またノーベル賞授賞式の壮大な写真が披露され、感嘆の声があがりました。

- | | |
|------|--|
| 講演 1 | 竹内康雄（医学部腎臓内科学・教授）
「腎臓病を悪化させないために一症状に乏しいので見過ごしがちですが…」 |
| 講演 2 | 石井大輔（医学部泌尿器科学・講師）
「腎不全治療の最前線—透析から移植まで—」 |
| 講演 3 | 吉田一成（新世紀医療開発センター臓器移植・再生医療学 教授）
「腎移植と健診—早期治療のために—」 |
| 特別講演 | 山田陽城（北里大学名誉教授、東京薬科大学薬学部特任教授）
「自然の生んだ薬の力—年間2億人を病魔から救っている薬から漢方薬まで—」 |



竹内康雄教授



石井大輔講師



吉田一成教授



山田陽城名誉教授

今年もくまモンが北里祭に出動

11月6日(日)、前日から開催されていた相模原キャンパスの北里祭に、熊本県営業部長兼しあわせ部長のくまモンが登場しました。くまモンの出動目的は、熊本県小国町のジャージーアイスの販売ブースと観光施設紹介のブースを応援することです。Kitasato100×50の記念事業の一環として、学園祭への出動を要請していたところ、2013年の北里祭に駆け付けてくれ、2016年には白金祭にも登場しました。これも偏に、学祖北里柴三郎博士が熊本県出身であることが、大きく後押ししてくれています。

当日は、午前11時20分からステージでのパフォーマンスが始まり、ここで大船渡市のゆるキャラ・オオフナトンも登場し、揃ってくまモン体操を披露して、会場を盛り上げてくれました。ステージ後は傍の販売ブースで山崎製パンとのコラボパン「白いパン」を見付け、お店の方と一緒に売り込んでいました。その結果、白いパンは直ぐに売り切れとなりました。

また、午後1時からキャンパス内を練り歩き、まずは北里柴三郎博士の銅像を表敬訪問しました。引き続き、L1号館ロビーに移動し、小国町のブースを応援しました。すでに、ジャージーアイスは完売しており、くまモンの出番は半減していましたが、町の担当者と楽しい掛け合いで会場を沸かせていました。さらに、特設のノーベル賞授賞式会場で子どもたちと記念写真を撮ったり、MB号館のアクアリウムラボの水槽を、興味深く見学していました。

時間が足りなく、足を踏み入っていない所が沢山ありましたが、次回を期待して下さい。



北里大学メディカルセンターにて「第8回糖尿病フェア」を開催

11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ、北里大学メディカルセンターでは11月19日(土)に院内において地域住民の方々を対象にした「第8回糖尿病フェア～知って得する糖尿病。守ろう！大切な自分のからだ～」を開催しました。

第1部は、内分泌代謝内科の高田哲秀医師より「糖尿病を防ぐために」、今西共里看護師より「第二の命。足を守ろう。～健康な生活を送るために～」、宮原陽子管理栄養士より「あなたは何を買いますか？～スーパーやコンビニでの食事の選び方について～」をテーマに講演を行いました。第2部は、糖尿病専門医、糖尿病療養指導士による体験・相談コーナーとし、各職種の専門性を活かしたブースを設けました。今年は講演に合わせて、看護師ブースでは、実際に足を診てフットケアのアドバイスをし、好評を頂きました。また、院内レストランとコラボレーションを行い、糖尿病フェア特別メニューを販売し、院内スタッフにも向けて啓発を行いました。

今年は161名と多くの方々の御来場を頂き、地域住民の糖尿病に対する関心の高さも窺えました。今後も地域の糖尿病教育機関として、啓発活動を行っていききたいと思います。



大村 智特別栄養教授に北本市初の市民栄誉賞を贈呈

11月16日(木)午前11時30分より北本市庁舎ホールにおいて、北本市市民栄誉賞贈呈式が執り行われました。この北本市市民栄誉賞は、北本市内在住もしくは市内の団体等で国内又は海外において、学術、芸術、文化、スポーツなどの分野で顕著な業績を達成し、同市の名声を高め、市民に夢と希望と感動を与えた人に、その功績を称え贈られる賞です。

北里大学メディカルセンターの開院や隣接する看護専門学校、大村記念館の設立とともに、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞し、その功績がより顕著になったことで北本市の知名度が上がり、市民に夢と希望と感動を与えたことなどを称え、大村 智特別栄養教授に同市では初めてとなる、北本市市民栄誉賞が贈呈されました。

当日は、北本市の職員の皆さんをはじめ、多くの市民の方が集まり、大村博士が登場すると盛大な拍手と歓声で出迎えました。式典会場には招待者のみの入場でしたが、ホールの壁がガラス張りだったため、集まった市民の方も外から表彰式を見学することが出来ました。市民の皆さんの大村博士に対する想いを改めて感じた市民栄誉賞贈呈式でした。



第4回 相模原キャンパス防災講演会の開催

11月16日(木)午後5時30分より、相模原キャンパスL1号館41講義室において防災講演会が開催され、約140名の教職員が参加しました。今年度も相模原市危機管理局の課長・石原朗氏を講師に迎え、『震災時における防災対策』をテーマに講演を行って頂きました。

2016年4月に発生した熊本地震の概要をはじめ、被害状況や過去の地震との異なる特徴、熊本地震における相模原市の支援状況を中心に、今後私達が地震から身を守るためにすべき「自助・共助・公助」の在り方について相模原市の防災対策の一例を交えながら説明して頂きました。

現在、相模原市においては、一時避難場所や広域避難場所、救護所の整備を進め、災害時における迅速かつ安定的な防災支援を進めていることや、2016年3月に防災ガイドブックを改訂し、市民が常日頃から防災に対する意識を高めるための啓発活動をしていることが述べられました。

本学は相模原市と「防災に関すること」を含む包括連携協定を締結しており、この講演会を通して、相模原市の地域防災に関する在り方を再確認することが出来ました。



北里大学病院内でロボット実証実験を実施

11月24日(木)、神奈川県公募型「ロボット実証実験支援事業」に採択された高平尚伸教授（医療衛生学部リハビリテーション学科）が、(株)シャンティと共同で開発した「体操評価付き健康啓発ロボットシステム」の実証実験を、北里大学病院1階のけやきサロンで行いました。この事業は、神奈川県「さがみロボット産業特区」の取り組みの一環として、生活支援ロボットの実用化を目指すための実証企画を全国から募集したもので、今年度は13件採択されています。

今回の実験では、日本整形外科学会が啓蒙しているロコモティブシンドローム予防の体操指導を、理学療法士に代わってロボットが行うことの有効性について、医学的な見地から検証しました。病院内で対象となる高齢者を募り、1台目のロボット「Pepper」が話しかけ、画面上で身体活動に関する質問に答えてもらい、対象者のロコモ度を簡易判定。続いて、2台目の人型小型ロボット「NAO」が手本となり、対象者の動きをセンサーで評価しながら体操指導を行いました。翌日25日(金)は、A1号館の研究室に場所を変えて、4つの異なる指導方法による対象者の動きの正確性を比較する対照実験を行いました。

今後ますます高齢化が進む社会において、このようなコミュニケーション能力をもつ医療支援ツールが注目を集めています。



平成28年度 補正予算

平成28年度補正予算は、4病院の運営環境が依然として厳しい状況にあることなどから、法人全体の経常収支差額は17.2億円の支出超過となりました。諸施策の実行により、前年度決算比で11.2億円の改善、当初予算比で5.4億円の改善と収支回復の傾向はみられますが、3年連続の支出超過となる見込みです。

本年7月に発足した第20期理事会は、ミッションとして「盤石な財務体質を確立し、より質の高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと」を掲げました。本法人が、将来にわたり質の高い教育・研究・医療を継続、発展させるためには、経営改革を断行し財政基盤を再構築することが必要不可欠です。平成29年度には、相模原キャンパス臨床教育研究棟及び白金キャンパス高層棟等が竣工を控えており、今後も校舎建替等を計画的に進める必要があります。

ミッション達成に向けて、是非とも教職員一丸となって、収入・支出の両面から改善に取り組み、効率的な運営を目指した予算の執行管理に協力をお願いいたします。

《学校法人会計》

平成27年度より、学校法人会計基準の一部改正が実施されました。その一つが消費収支計算書に変わる「事業活動収支」であり、学校法人が行う諸活動を3つに区分経理（教育活動収支・教育活動外収支・特別収支）し、一般にわかりやすく、社会から一層求められている説明責任を的確に果たす仕組みに改められました。

資金収支予算（総括）

（単位：千円）

	科 目	予算額		
収入の部	1 学生生徒等納付金収入	19,002,584	【収入の部について】 学生生徒等納付金収入190億300万円、補助金収入47億9,300万円、付随事業収入35億3,100万円、医療収入636億7,200万円などの合計1,007億2,700万円[A]と、平成27年度からの繰越支払資金66億4,300万円[B]をあわせ、1,073億7,000万円の資金収入となる見込みです。	
	2 手数料収入	714,290		
	3 寄付金収入	938,312		
	4 補助金収入	4,792,669		
	5 資産売却収入	102,000		
	6 付随事業・収益事業収入	3,530,521		
	7 医療収入	63,671,567		
	8 受取利息・配当金収入	660,981		
	9 雑収入	2,060,675		
	10 借入金等収入	0		
	11 前受金収入	3,883,496		
	12 その他の収入	18,472,781		
	13 資金収入調整勘定	▲17,102,484		
	[A] 当年度収入合計	100,727,392	【13資金収入調整勘定について】 資金収入予算では、翌年度以降に入金する保険診療収入や前年度納付された学生生徒等納付金など、実際の現金収受を伴わない収入項目について予算の計上年度を一致させるために資金収入調整勘定を設け、171億200万円の調整を行っています。	
	[B] 前年度繰越支払資金	6,643,000		
	収入の部合計	107,370,392		
支出の部	1 人件費支出	44,396,605		【支出の部について】 人件費443億9,700万円、医療経費を含む教育研究経費支出404億6,300万円、管理経費支出35億9,700万円、施設関係支出65億4,500万円、設備関係支出17億6,400万円などを当年度支出として計上しました。 また、資産運用支出として、将来の教職員に対する退職金の支払資金や教育研究資金の充実のための積立など12億1,100万円を計上しました。
	2 教育研究経費支出	40,463,009		
	3 (医療経費支出)	(22,253,270)		
	4 管理経費支出	3,597,436		
	5 借入金等利息支出	184,889		
	6 借入金等返済支出	2,185,150		
	7 施設関係支出	6,545,216		
	8 設備関係支出	1,764,038		
	9 資産運用支出	1,210,685		
	10 その他の支出	10,121,636		
	11 予備費	300,000		
	12 資金支出調整勘定	▲10,041,272		
	[C] 当年度支出合計	100,727,392	【12資金支出調整勘定について】 当年度に購入した物品などで翌年度に支払われる経費について、予算計上年度と資金の支払いを一致させるために、資金支出調整勘定を設け、100億4,100万円の調整を行っています。	
	[D] 次年度繰越支払資金	6,643,000		
	支出の部合計	107,370,392		

（注1）支出の部[3 医療経費支出]は、[2 教育研究経費支出]の内数である。

事業活動収支予算（総括）

(単位：千円)

		科 目	予算額
教育活動収入の部	事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	19,002,584
		2 手数料	714,290
		3 寄付金	938,312
		4 経常費補助金	4,665,291
		5 付随事業収入	3,513,245
		6 医療収入	63,671,567
		7 雑収入	2,057,870
	[E] 教育活動収入計	94,563,159	
	事業活動支出の部	1 人件費	44,273,915
		2 教育研究経費	48,443,589
3 (医療経費)		(22,253,270)	
4 管理経費		3,998,760	
5 徴収不能額等		62,435	
[F] 教育活動支出計	96,778,699		
[G] 教育活動収支差額([E]-[F])	▲2,215,540		
教育活動外収入の部	事業収入の活動	1 受取利息・配当金	660,981
		2 その他の教育活動外収入	17,276
	[H] 教育活動外収入計	678,257	
	事業支出の活動	1 借入金等利息	184,889
		2 その他の教育活動外支出	0
	[I] 教育活動外支出計	184,889	
[J] 教育活動外収支差額([H]-[I])	493,368		
[K] 経常収支差額([G]+[J])	▲1,722,172		
特別収支	事業収入の活動	1 資産売却差額	76,990
		2 その他の特別収入	222,404
	[L] 特別収入計	299,394	
	事業支出の活動	1 資産処分差額	214,335
		2 その他の特別支出	9,977
	[M] 特別支出計	224,312	
[N] 特別収支差額([L]-[M])	75,082		
[O] [予備費]	300,000		
[P] 基本金組入前当年度収支差額([K]+[N]-[O])	▲1,947,090		
[Q] 基本金組入額合計	▲6,969,061		
[R] 当年度収支差額	▲8,916,151		
[S] 前年度繰越収支差額	▲27,528,055		
[T] 基本金取崩額	0		
[U] 翌年度繰越収支差額([R]+[S]+[T])	▲36,444,206		

【事業活動収入の部について】
 事業活動収入は、学生生徒等納付金190億300万円、補助金46億6,500万円、付随事業収入35億1,300万円、医療収入636億7,200万円など、955億4,100万円〔V〕となる見込みです。

【事業活動支出の部について】
 人件費442億7,400万円、医療経費を含む教育研究経費484億4,400万円、管理経費39億9,900万円、資産処分差額2億1,400万円など合計974億8,800万円〔W〕を計上しました。

【2 その他の教育活動外収入】
 その他の教育活動外収入の1,700万円は、収益事業収入となります。

【基本金組入前当年度収支差額について】
 基本金組入前当年度収支差額〔P〕は19億4,700万円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額比率〔〔P〕/〔V〕〕は、◆2.0%となる見込みです。

【基本金組入額について】
 基本金組入額は、教育研究活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから、土地・建物・構築物などの施設関係、教育研究用機器などの設備関係、施設設備の建設のために借り入れた借入金の返済額、および基金などを組み入れた金額であり、当年度は69億6,900万円〔Q〕となる見込みです。

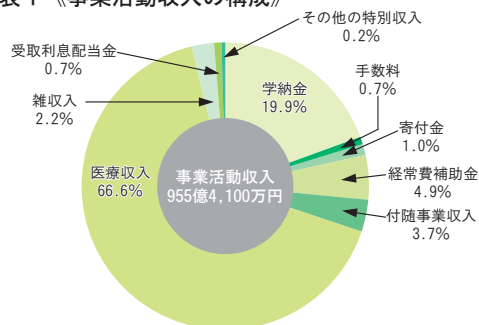
【収支差額について】
 事業活動収支計算における収支の均衡状態は、当年度収支差額〔R〕89億1,600万円の支出超過となります。

(参考)

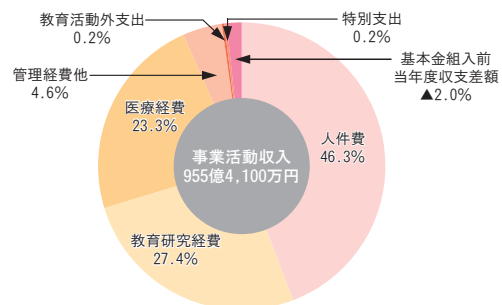
[V] 事業活動収入計([E]+[H]+[L])	95,540,810
[W] 事業活動支出計([F]+[I]+[M]+[O])	97,487,900

(注1) 支出の部〔3 医療経費〕は、〔2 教育研究経費〕の内数である。

別表1 《事業活動収入の構成》



別表2 《事業活動収入に対する事業活動支出の構成》



《収益事業会計》

収益事業部門では、北里第一三共ワクチン株式会社への不動産貸付業を対象としており、経常利益は1,700万円と見込みました。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	予 算 額
不動産賃貸収入	24,120
不動産賃貸原価	6,844
営業利益	17,276
営業外費用	
保険料	0
経常利益	17,276
学校会計繰入前当期純利益	17,276
学校会計繰入支出	17,276
税引前当期純利益	0
法人税、住民税及び事業税	0
当期純利益	0

【不動産賃貸収入】

北里第一三共ワクチン株式会社への土地賃料となります。

【学校会計繰入支出】

学校法人会計の事業収入「収益事業収入」に計上されます。

平成29年度当初予算編成方針

平成29年度予算編成方針

1. 予算編成にあたって

平成28年度補正予算における経常収支差額は、学校法人全体で17億円の支出超過を見込んでおり、平成26年度以降3年連続赤字という厳しい編成内容であった。赤字の連続に連れて、要積立額に対する積立不足も拡大し、平成28年度末には積立率が60%台半ばまで低下する見込みである。特に病院群は、収支改善の兆候が見え始めたものの、経営の立直しは大きな課題である。

第20期理事会は、ミッションとして「盤石な財務体質を確立し、より質の高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと」を掲げた。ミッション達成の諸施策のうち最大のテーマは、「経営改革の断行」である。本法人が、将来にわたり質の高い教育・研究・医療を継続、発展させるためには、経営改善を目指した改革を断行し、財政基盤を再構築することが必要不可欠となる。また、平成29年度に臨床教育研究棟および白金キャンパスⅡ期工事が竣工を迎えることや、今後、相模原キャンパス整備や校舎建替を計画的に進める必要もあることから、第20期施策の具体的な取り組み方策として「キャンパス整備の推進」を掲げている。キャンパス整備を円滑に進めるために、計画的に自己資金を留保し、更新資金の積立率を向上させること。

予算編成にあたっては、収支均衡に向けて従来より一歩踏み込み、非常勤人件費の圧縮や費用対効果を念頭においた経費の削減など慣例にとられない施策を断行し、もって経常収支差額比率の向上を図ることを編成目標とする。

2. 前提条件

(1) 学生生徒等納付金収入

大学設置基準および経常費補助金交付要領に対応した学生入学定員管理の厳格化に留意し、各学部等の実態に即した学生数（充足率）を設定し積算すること。

(2) 医療収入

診療報酬改正等医療政策の方向性を充分考慮し、各事業部門の方針に従った施策を反映し積算すること。

(3) 人件費

予算枠や人員計画枠の確保に拘泥することなく、実人員数を基に年間の増減要因を加味したうえで実態に即した積算額を計上し、予算額と決算額の乖離を最小限に留めること。また、非常勤教職員人件費については、専任教職員を増員することなく、圧縮を図ること。

(4) 研究費

研究用機器等のうち資本的支出の見込みがある場合は、予算編成時において適正科目にて計上すること。

(5) 物件費等

物件費および委託費、光熱水費は、費用対効果を念頭において支出圧縮に努めるとともに、管財部と連携をとり価格低減に努めた予算とすること。

(6) 共通経費

法人本部および教学本部における運営費用は、各事業部門が拠出する共通経費により運営されていることやその限度額内で効率よく役務を提供する必要があることを再認識して予算編成をすること。法人本部および教学本部の各部署は、平成28年度当初予算額に対して5%相当額（合計約2億円）を支出の削減目標とする（既に計画が承認進行している「キャンパス整備費等」を除く）。

3. 財務目標

(1) 経常収支差額比率

各事業部門の目標は、近年の決算状況や平成29年度の長期収支予測を基に総合的に判断した比率とし、法人全体は▲1.0%未満（経常収支差額▲10億円未満）を見込む。

4病院は、今後予定されている事業計画意見交換会等において議論する改善策を踏まえ、別途設定する。

【予算単位の目標値（経常収支差額比率）】

予算単位	目標値
薬学部	12.7%以上
獣医学部	9.0%以上
医学部	12.6%以上
海洋生命科学部	4.4%以上
看護学部	21.0%以上
理学部	18.1%以上
医療衛生学部	15.4%以上
医療系研究科	9.4%以上
生命研・学府	▲77.7%未満
東洋医学総合研究所	2.6%以上
大学病院	収支改善策を踏まえ、別途目標値を設定する
東病院	
北研病院	
KMC	
保健衛生専門学院	11.4%以上
看護専門学校	▲2.5%未満
共通・法人部門	▲54.2%未満

*目標値がマイナス(▲)で表示されている予算単位は、限りなく収支均衡に近づけるように具体策を検討し、編成に織込むこと。

(2) 人件費比率

目標比率は、健全運営の目安である教学群46%以下、併設校55%以下、病院群（東医研含む）50%以下とし、法人全体の目標を50%以下とする。

但し、生命研・学府と東病院は80%未満、看護専門学校は68%未満を必達すること。

4. 留意事項

(1) 外部資金（寄付金、受託研究費、補助金等）を積極的に導入し、教育研究の実を上げるよう具体的計画を策定して実現可能な額の予算を計上すること。

- (2) 退職給与引当特定資産および減価償却引当特定資産については要積立額の100%積み立てを目標とすること。なお、校舎建替等への投資額は、原則として、各部門の自己資金から運転資金と退職給与引当特定資産を控除した残額以内を限度額とする。
 - (3) 平成29年度事業計画として立案された事項についても、さらに可能な限り事業費の圧縮を行ったうえで計上すること。
 - (4) 「平成29年度予算編成に関する提出書類等について」を参照すること。
5. 予算要求書の提出期限
平成29年1月10日(火)

平成29年度人件費予算編成方針

1. 人件費積算

予算枠や人員計画枠の確保に固守することなく、実人員数をもとに年間の増減要因を加味したうえで、実態に即した積算額を計上すること。

2. 給与表・諸手当等

(1)給与表

平成28年度給与表を使用する。

(2)基本給

平成28年度基本給（号俸）を定期昇給（4号俸）させ積算する。

(3)基本給調整・年額調整

基本給調整および年額調整は、平成20年度の9/10通減した額とする。

(4)諸手当

諸手当は平成28年度給与規程に則り積算する。このうち、年次移行の指標で推移する手当の平成29年度支給率は次のとおりとする。

① 地域手当

旧学園在籍者	白金	18%
	相模原	16%
	北本	14%
	十和田・新潟	10%
旧北研在籍者 新採用者	白金	16%
	相模原	16%
	北本	14%
	十和田・新潟	10%

② 職務調整手当

旧学園在籍者	獣医学部	大学教員	2%
	保健衛生学院	専修学校教員	2%
旧北研在籍者	北研病院	看護職	1%
	東医研	医務職(薬剤師)、看護職	1%
	臨床研究機構	看護職	1%
	生命研	大学教員	1%
新採用者	薬学部	大学教員	1%
	獣医学部	大学教員	2%
	保健衛生学院	専修学校教員	2%
	北研病院	看護職	1%

新採用者	東医研	医務職(薬剤師)、看護職	1%
		大学教員	1%
	臨床研究機構	看護職	1%
	生命研	大学教員	1%

(5) 賞与

平成29年度人件費予算編成は4.2ヶ月で積算する。(平成28年度予定支給率)

なお、賞与支給率は補正予算編成時に改めて賞与支給率を周知するものとする。

(6) 所定福利費

法の定める保険料率（事業主負担分）とする。

(7) 退職金財団掛金

退職金財団加入者については、退職金財団の定める掛金率とする。

平成29年度募金計画作成方針

1. 本年度の募金計画

平成29年度予算編成にあたり、事業計画に掲げた教育・研究・診療などの諸活動および施設設備の整備充実に向けた諸事業を推進するための財源確保を図るため、下記により本年度の募金計画を作成する。

なお、募金目標の設定にあたっては、過年度実績等を十分に勘案し、実現可能な額を計画すること。また、北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年記念事業募金は平成28年度末をもって終了するが、平成29年度には白金キャンパスで高層棟や低層棟が、相模原キャンパスでは臨床教育研究棟が竣工する。さらに、今後、医療系3学部の校舎建て替え計画について具体案が検討される予定であり、大規模なインフラ整備に向けた新たな募金事業推進されることとなる。これらの新募金事業については、今後の募金委員会および定例理事会の審議を経て詳細を決定し、この募金額は補正予算において上乗せ計上を予定する。

2. 予算の計上方法

各部門においては、例年どおり新入生・在学生の父母、卒業生、教職員など個人からの「特別寄付金」、学部などの講座・研究室への学術研究の振興および助成を目的とする「研究助成金」、企業・法人などからの「指定寄付金」をそれぞれ見積もり、当初予算に計上する。

3. 各部門募金計画書の提出期限

平成29年1月10日(火)

事業計画（追加）

平成28年度事業計画の追加（管財部）

〔事業名称〕

相模原キャンパス フロントライン整備（Ⅲ期）工事

〔追加事由〕

相模原キャンパス南側を通る県道52号（相模原町田）については、平成30年7月より拡幅工事が行われる予定であり、着工前にフロントライン整備（Ⅲ期）設計として、

- ① 病院正面車両出入口整備
- ② 店舗棟解体車両出口整備
- ③ 歩車道、外構植栽、インフラ整備
- ④ 拡幅部分の高圧ガス・店舗棟建屋・バス停・樹木他支障物の撤去
- ⑤ 病院守衛所の新築・撤去等を行う必要があることから、平成29年度に予定していた当該工事の設計業務を平成28年度に前倒して実施する。

〔計画の概要（平成28年度～平成30年度）〕

相模原キャンパス整備計画を踏まえ、県道52号（相模原町田）側から大学病院守衛所（A）北側敷地内道路までと東西方向は病院守衛所（A）より既存大学守衛所（B）のエリアをフロントライン整備（Ⅲ期）工事とし、当該工事に係る設計業務委託を行う。

人 事

（11月理事会承認分）

人事は、「公示」により公表します。

「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。

大学教育職の採用

蓮沼 智子（医学部教授）

任期：平成29年1月1日～平成33年3月31日
（平成29年1月1日付）

大学教育職の昇任

金井 一享（獣医学部教授・獣医学系研究科専任教授）

准教授から教授へ
任期：平成25年4月1日～平成30年3月31日
（平成29年1月1日付）

稲岡 秀検（医療衛生学部教授）

准教授から教授へ
任期：平成25年4月1日～平成30年3月31日
（平成29年4月1日付※）

※同日付で医療工学科臨床工学専攻医療電子工学から部内異動

畠山 禎（一般教育部教授）

准教授から教授へ
任期：平成29年4月1日～平成34年3月31日
（平成29年4月1日付）

知的資産センター長の任用

東原 正明（常任理事）

※前任者の馬嶋正隆医学部教授は、平成28年10月31日付で任用解除
（平成28年11月1日付）

定年年齢統一までの特例措置対象者の再雇用（嘱託職員）

森 孝之（北里柴三郎記念室次長待遇）

雇用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

規 程

（11月理事会承認分）

各規程の全文は、「学校法人北里研究所規程集」に収録します。
「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。

4 病院における副院長及び病院長補佐職務権限規程の改正

〔改正規程〕

- (1) 大学病院
北里大学病院副院長職務権限規程
北里大学病院病院長補佐職務権限規程
- (2) 東病院
北里大学東病院副院長職務権限規程
北里大学東病院病院長補佐職務権限規程
- (3) 北里研究所病院
北里大学北里研究所病院副院長職務権限規程
北里大学北里研究所病院病院長補佐職務権限規程
- (4) 北里大学メディカルセンター
北里大学メディカルセンター副院長職務権限規程
北里大学メディカルセンター病院長補佐職務権限規程

〔主な改正内容〕

改廃権限を各病院長へ委譲する。

〔改正・施行年月日〕

平成28年12月1日

人事部所管規程の改正

〔改正規程〕

- 国内出張旅費規程
- 国外出張旅費規程
- 専任職員の育児に関する短時間勤務規程
- 職員の雇用管理に係る個人情報保護に関する取扱い内規
- 職員互助会規程

〔主な改正内容〕

改廃権限を理事長等へ委譲する。

〔改正・施行年月日〕

平成28年11月1日付

非常勤職員給与規程の改正

〔改正規程〕

- 非常勤職員給与規程

〔改正内容〕

医学部専門教科目に係る教員給与を改正する。

〔改正・施行年月日〕

平成29年4月1日

学 術 交 流

《11月理事会承認・学部長会了承》

「アジア内視鏡人材育成支援大学コンソーシアム」への加盟
および協定の締結

〔締結目的〕

内視鏡医療分野において先導的な国内14大学の大学間協定のもと、我が国の高等教育および学術研究の発展に寄与することを目的とする。

〔協定参加大学〕

大分大学、大阪大学、北里大学、九州大学、京都大学、近畿大学、慶應義塾大学、神戸大学、国際医療福祉大学、埼玉医科大学、帝京大学、東京大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学

〔締結年月日〕

平成28年10月27日付

神奈川県教育委員会との連携協力に関する協定の締結

〔趣 旨〕

神奈川県教育委員会と各大学が包括的な協定を締結する。これにもとづき、各大学は可能な範囲でのプログラムを提供し、県立高校は生徒のニーズに応じたプログラムを活用する。大学側は、教育内容や施設・設備等の魅力を高校生に直接伝えることができる。高校側は、生徒の多様な学習ニーズに対応し、主体的な学習意欲や知的好奇心を喚起することができる。

〔締結日等〕

- (1) 協定の締結：11月中旬予定
- (2) 協定締結式：11月25日(金)
- (3) コンソーシアムの取組開始：平成29年4月

委 員 会

《11月学部長会了承》

北里大学チーム医療教育委員会

〔委員長の選出〕

小山 幸代（看護学部教育委員長・教授）

任期：平成28年10月25日～平成30年6月30日

北里大学 RI 安全管理委員会

〔委員の交代〕

旧委員 馬嶋 正隆（医学部教授）

→新委員 阪上 洋行（医学部教授）

任期：平成28年10月1日～平成31年3月31日

北里大学奨学生選考委員会

被災学生等奨学生審査委員会

〔委員の選出〕

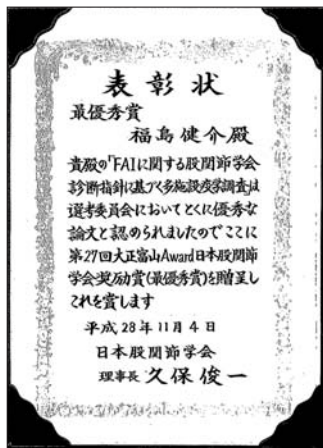
小林 義典（北里大学学生指導委員会委員・薬学部教授）

任期：平成28年7月1日～平成29年3月31日

受 賞

第27回大正富山 Award 日本股関節学会奨励賞（最優秀賞）

医学部助教（研究員） 福島 健介



本学医学部の福島健介助教は、第27回大正富山 Award 日本股関節学会において、「FAIに関する股関節学会診断指針に基づく多施設疫学調査」がとくに優秀な論文と認められ表彰された。

(平成28年11月4日付)

日本水処理生物学会第19回論文賞

医療衛生学部教授 清 和成



本学医療衛生学部の清和成教授は、日本水処理生物学会において、「1,4-ジオキサン分解菌 Pseudonocardia sp. D17 株の包括固定化における菌体濃度および保存が固定化菌体の処理性能に及ぼす影響」（日本水処理生物学会誌 Vol.51, No4, pp.83-93, 2015）が優れた論文として認められ表彰された。

(平成28年11月11日付)

受 賞

第6回北海道肉専用種枝肉共励会会長賞

獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場

本学獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場は、第6回北海道肉専用種枝肉共励会において、放牧を主体とした自給粗飼料100%で生産しているにも関わらず、枝肉歩留まり（枝肉重量/生体重）が58%と高く、産肉性が高いことが評価され、北里八雲牛は会長賞を受賞した。

(平成28年11月11日付)

平成28年度医学教育等関係業務功労者表彰

医学部付属遺伝子高次機能解析センター
一般職（教育系技術職） 丸山 茂善
北里大学病院看護部
主任（看護職） 石井 正代

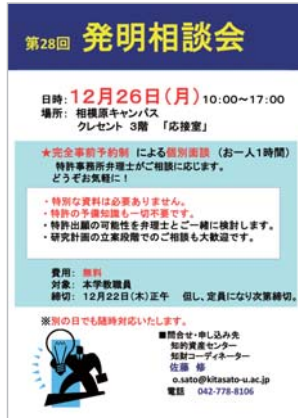
本学医学部付属遺伝子高次機能解析センターの丸山茂善と大学病院看護部の石井正代主任は、大学において、医学・歯学に関する教育・研究や患者診療の補助的業務に熱心に従事し、周囲の規範となっていることが評価され表彰された。

(平成28年11月22日付)

イベント

詳細につきましては、Web サイトでご確認ください。

第28回 発明相談会



日 時：12月26日(月) 10：00～17：00
 場 所：相模原キャンパス クレセント3階「応接室」
 内 容：完全事前予約制による個別面談
 ※特許事務所弁理士が対応
 対 象：本学教職員
 参加費：無料
 締 切：12月22日(木)正午。ただし、定員になり次第締切。
 問合せ先：知的資産センター

平成28年度 学校法人北里研究所 第26回学会賞受賞者特別講演会



日 時：平成29年1月30日(月) 14：00～17：35
 場 所：白金キャンパス 薬学部コンベンションホール
 講演者：

- ①平成28年 小林六造記念賞（日本細菌学会）
 小嶋 誠司 氏（名古屋大学大学院理学研究科）
 「細菌べん毛の回転および本数制御機構に関する研究」
- ②平成28年度 志賀潔・秦佐八郎記念賞（日本化学療法学会）
 上原 すゞ子 氏（千葉大学/埼玉医科大学小児科）
 「小児細菌感染症の病原診断とインフルエンザ菌b型（Hib）ワクチン導入に向けて」

- ③平成28年度 大塚敬節記念東洋医学賞（日本東洋医学会）
 二宮 文乃 氏（アオキクリニック）
 「皮膚は経路を通じて体をコントロールする」
- ④平成28年度 日本放線菌学会賞（日本放線菌学会）
 上田 賢志 氏（日本大学生物資源科学部）
 「放線菌の形態分化と二次代謝の適応応答メカニズム」
- ⑤平成28年 浅川賞（日本細菌学会）
 池 康嘉 氏（群馬大学/一般社団法人薬剤耐性菌教育研究会）
 「腸球菌の病原性因子」

参加費：無料
 問合せ先：研究支援センター事務局
 関連HP：<https://www.kitasato.ac.jp/jp/news/20161214-01.html>